

「第3次佐賀市総合計画(素案)」に対し意見表明

～災害への備えや生活者の安全確保等について意見表明～

一般社団法人日本損害保険協会佐賀損保会(会長：岩田 高明 東京海上日動火災保険株式会社 佐賀支店長)では、2024年6月14日付で公表された「第3次佐賀市総合計画(素案)」の意見募集に対し、7月18日付で意見表明を行いました。

同計画は、佐賀市が“長期的な視点に立って、どのような姿を目指し、何を行っていくのか”をまちづくりの指針としてまとめた計画であり、市の最上位計画に位置付けられています。

佐賀損保会では、昨今の自然災害の激甚化・頻発化を踏まえ、防災や減災の取り組みに加えて復旧・復興の備えが重要であるとともに、河川改修等による外水対策だけでなく内水氾濫対策の推進も必要であるとの考えに基づき、次のとおり意見表明しております。

《主な意見内容》

P6 ②激甚化する災害への備え

激甚化・頻発化する災害により、令和元年8月の前線に伴う大雨のような同様の被害に見舞われることが考えられる中、「災害が発生した際には被害ができる限り小さく済むように、自助・共助・公助が連携して日頃からの十分な備えを行う」という社会の潮流認識に賛同いたします。

なお、ご指摘のあった減災とともに、激甚化している災害を踏まえると、復旧・復興の備えも重要な視点ではないかと考えます。

P49～50 08 防災・安全

地域防災力向上のための防災リーダーの支援や育成は、当協会としましても市民の生命・身体を守る重要な取組と捉えており、賛同いたします。

また、令和元年8月の前線に伴う大雨等の災害を踏まえ、「激甚化・頻発化する水害に備えたまちづくり」の各項目に賛同いたします。なお、既に記載されているように、河川改修等による外水対策はもちろん、当市の特徴的な内水氾濫対策も計画に推進していただきたい。

加えて、地域ぐるみによる生活者の安全確保に掲げられている、各項目につきハード・ソフトの両面から備えを充実することに賛同いたします。特に、小学校入学に伴い子供は急激に交通事故および犯罪被害に巻き込まれるリスクが増加する(交通事故総合分析センター・交通統計、警察庁・犯罪白書等参考)ため、「①交通ルールの遵守や交通マナーの向上に向け、交通安全教育の推進や啓発など、交通安全対策の充実を図ります。」および「③地域の防犯活動を支援するとともに、犯罪が起こりにくい地域づくりを推進します。」については、小学生等に特化した取組を推進する必要があると考えております。